

～地域包括ケアシステムの構築に向けて～

# 多様な視点から「自立」と「支援」を考える

地域包括ケアシステムには、尊厳の保持・自立支援・規範的統合の三つの理念があるといわれています。今回は尊厳の保持・自立支援にスポットをあて、「自立とは何か?」「自立支援」とはどうあるべきなのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。ところで…あなたは支援で「自立」の意味を説明できていますか?

日時

平成29年 **2月26日** (日) 13:30～16:45 受付開始13:00～

会場

公益財団法人 東京都福祉保健財団 **19階 多目的室2**

東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル19階

(新宿駅西口から徒歩15分・大江戸線都庁前駅から徒歩7分・東京メトロ丸の内線西新宿駅から徒歩10分)

## プログラム

リハビリ

×

意思決定支援

×

当事者の親

×

哲学

第一部 13:30～14:50 ゲストからの発表 & 意見交換

### それぞれの立場からとらえた「自立」とは?

第二部 15:05～16:45 遠藤氏のミニ講演 & ゲストを交えた意見交換 & 質疑応答

### 「自立支援」はどうあるべきか?

ミニ講演 「介護保険制度における自立支援の視点」

(指定討論者) 厚生労働省老健局総務課

介護保険指導室長兼ケアマネジメント調整官 遠藤 征也 氏

#### 当日のゲスト

##### リハビリテーションの立場から

目白大学保健医療学部理学療法学科

准教授 新井 武志氏

##### 意思決定支援の立場から

アリエ法律事務所

弁護士 山田 恵太氏

##### 当事者の親の立場から

立川市手をつなぐ親の会

副会長 野々 久美子氏

##### 哲学者の立場から

慶應義塾大学商学部

准教授 渡名喜 庸哲氏

コーディネーター

東京社会福祉士会 地域包括支援センター委員会

委員長

山本繁樹

コメンテーター

東京社会福祉士会 地域包括支援センター委員会

副委員長

和田 忍